

Cサポ通信 夏号

2022年7月
No.7

一般社団法人消費生活総合サポートセンター(Cサポ) 会長 小野由美子
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-6 川合ビル 33 号室
Tel & Fax.03-6268-9873
URL <https://www.c-support.or.jp>



Cサポ 2022 年度定時総会を開催しました

2022年6月25日

◆報告：Cサポの定期総会を開催し、提議された3つの議案はいずれも可決承認されました。
尚、今回は正会員46名の内37名の方に議決権を行使していただき、ありがとうございました。

第1号議案 2021年度事業報告

2021年度は2019年12月の設立後実質2年目の活動を行ってきました。2020年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により様々な活動が制限される中、Zoom等も活用しながら下記の活動を行って来ました。

- ① 学校及び一般社会人向けの消費生活出前講座を6件、延べ265名に行いました。
- ② 福祉サービス第三者評価を23件行いました。
- ③ 若者、高齢者及び障害者向けの消費者教育教材を作成し、講座も13件、延べ約2,000名に行いました。
- ④ 国民生活センター及び自治体からの要請により、消費生活相談員等に5件の講座を行いました。
- ⑤ 消費者庁参事官による消費者白書勉強会を40名に対してオンラインで実施しました。
- ⑥ エシカルな行動をテーマとした消費者教育勉強会を、Cサポ会員と教員26名を対象にリアルとオンラインとによるデュアル開催を行いました。
- ⑦ 会員同士でエネルギーに関する知識を深めることを目的に、エネルギー関係の勉強会及びエシカル消費教材検討会(通称:EE(ええ)べんとう会)を2021年7月から毎月1回行い、延べ125名が参加しました。
- ⑧ SDGsを核にした多様な団体との交流として、横浜市立川上小学校においてエコプロ校外学習を取り入れた企業2社(王子ホールディング株式会社、トンボ鉛筆株式会社)との連携講座を行いました。

第2号議案 2021年度決算報告及び監査報告

2021年度の決算は期末日現在、資産合計6,399,168円、負債合計6,532,082円、一般正味財産△132,914円となりました。また、通期では、経常収益10,751,179円、経常費用10,551,412円、当期経常増減額199,767円となりました。経常外増減及び税金を差し引きした当期一般正味財産増額は86,782円となりました。また、監査報告書もあわせて報告をしました。

第3号議案 理事の選任

Cサポ顧問の佐藤雄一郎氏を理事に選任し、同時に現理事6名の再任を提議しました。

報告事項 2022年度事業計画及び収支予算

2021年度の活動を踏まえ、さらに消費者を総合的にサポートしていきます。また、エネルギー講座の開催を目指します。また、収支は経常収益9,347,000円、経常費用9,183,000円、当期経常増額164,000円を目指します。

C サポ作成の消費者教育教材が消費者庁長官賞を受賞！

2022年6月27日

◆報告：2021年の優秀賞受賞教材の中から選ばれる3賞のうち、C サポは消費者長官賞に輝きました。消費者教育支援センター主催消費者教育教材資料表彰 2022において、C サポの「オンラインで学べる消費者教育教材(義務教育編)」が消費者庁長官賞を受賞しました。



消費者長官賞を受ける小野会長

6月27日(月)、(公財)消費者教育支援センター主催の「消費者教育シンポジウム 2022」の第一部において、消費者教育教材 2022 表彰式が行われました。C サポは、消費者庁長官より消費者庁長官賞を受賞し、受賞者による記念写真撮影。受賞理由は審査員を代表して東珠実選考委員会委員長(日本消費者教育学会会長)より「①見えないお金を取り上げたこと、②シンプルかつ契約場面をイメージしやすいWeb動画、③指導要領に忠実で授業計画案をはじめとする補助教材の充実、④安全やヒヤリハットへの取り組みが評価のポイント」との講評をいただきました。

受賞者の記念撮影は消費者教育支援センターのHPで掲載されますので、ぜひご覧ください。

<受賞教材>

「オンラインで学べる消費者教育教材(義務教育編)」

2021年に優秀賞を受賞した22点の教材(団体)の中から、公募された審査員によって授業で使い勝手を検証した上で、①内閣特命担当大臣賞、②消費者庁長官賞、③消費者教育支援センター理事長賞の3賞が選ばれます。その中で、2022年は、①浜松市、②新潟市消費生活センター、C サポ、③(株)ケイオーパートナーズの4団体が受賞しました。行政や企業ではない消費者団体・NPO部門の受賞は、C サポだけです！

監修者の先生方、お世話になりご尽力いただきました皆様に、改めてお礼申し上げます。



- ★C サポ会員の皆様は無料でお使いいただけます。
- ★教員の方が授業でお使いいただく場合は、申込フォームでお申込みください。無料で提供いたします。
- ★詳しくは、C サポ HP トップの「[C サポオンラインで学べる消費者教育教材](#)」をご覧ください。

「福祉サービス第三者評価委員会」本格始動！

◆報告：C サポの仲間たちからの、支援・協力を得て、昨年度は、合計 23 件(内 3 件は利用者調査)の評価を実施することができました。

「福祉サービス第三者評価」制度の大事な目的

どのような福祉サービスがあるのか、また自分（家族）に合っているサービスかなどは、利用してみないと分からないと悩んでいらっしゃる方も多いでしょう。福祉サービスを利用者が自分で選ぶには「サービス情報」が必要です。福祉サービス第三者評価の目的は、

- ① 利用者等へのサービス情報の提供
 - ② 評価結果を事業者がサービスの改善や向上に活かす取り組みを後押しする
- の2点です。

最近の事業所の取り組みに感じること

評価者として、長年第三者評価を通じて福祉事業所の変遷を見てきたといえます。利用者の安全と安心など「リスク管理」が重要な視点ですが、近年、度々起こった重大な自然災害の発生やコロナ感染症の拡大で、リスク管理はまさに重点課題となっています。また、「施設と地域との関係性」について、コロナ禍で一時縮小を余儀なくされていますが、利用者や地域のボランティア、職員の方々との心をつなぐ取り組みへの工夫や努力には感慨を覚えます。

更に、福祉施設の「ICT化」が徐々に進んできていることも特筆されます。介護ロボットという言葉もお聞きになった方が多いのでは。センサーが装備されているベッドが開発されています。`そろそろ目覚めて起きかかっている“など、サービスステーションで把握し、夜間でも良いタイミングでトイレ介助を行うなど、今後の利用も高まるでしょう。設備面ではまた超微粒子のミストシャワー浴が褥瘡予防にもなるなど、利用者にも職員にも優しい機器の開発・活用も聞くようになりました。

コロナの関係で家族の面会が中止されていますが、オンライン面会などが進みました。遠方の家族にとっては、コロナ禍以前より便利になったと感じられているようです。また、「認知症理解の促進」についても、職員は定期的な研修や研究を行い、理解を深めて専門的な資格獲得に励んでいます。

利用者が望む暮らしの実現に向け、努力が積み重ねられていることを感じています。

第三者評価では、事業評価と併せ利用者満足度も調査します。

第三者評価では、事業所の取り組みをうかがう他、利用者にはアヒアヒングやアンケートなどで、満足度をお聞きします。また、職員からの自己評価や自由意見を集め、現状の理解と課題の分析に活用します。

評価結果は、東京都の福祉ナビゲーションで公表されます。身近なインターネットのHPで、実際に行われている福祉サービスの詳細を知ることができますので、事業所を利用したいと考えている方にとって役立っているものと自負しています。

私たちが取り組む3つのお約束

1. 「利用者視点」と「事業所との信頼関係」を重視して評価します。
2. わかりやすく見やすい評価資料を提供します。
3. 事業者様のご要望にできるかぎり対応します。

昨年度と比較できる利用者調査・職員調査結果の資料を作成してほしい。



職員にフィードバックしてほしい。

今後とも会員の方々とのコラボで新しい成果を期待しています。



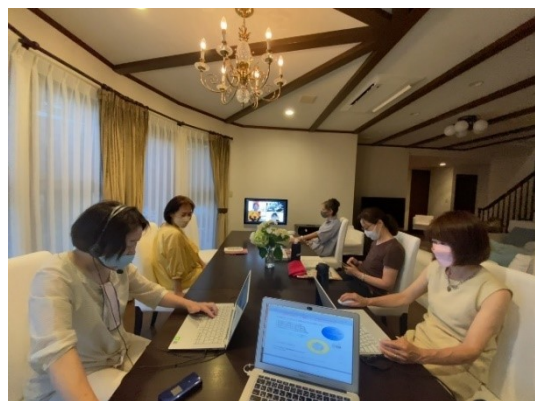
<EE べんとう会> 7月1-2日 in伊豆高原(1泊2日)

7月のEEべんとう会は、伊豆高原に1泊2日リアルで集まったメンバーとZoom参加者で行いました。今回は、Cサポ会員でもありエシカル推進協議会の理事 薄羽美江さんにアドバイスをいただきながら、今後の活動についてどのように展開していけばよいかを模索しました。主な題材として、エシカル消費の教材をつくるなら、そもそもどのような教材をつくるのか、誰に対する教材なのかなど現代社会を背景に考えて基本を見直す良い機会となりました。

参加した皆さんは、Cサポで作る質の高い教材を目指している意気込みがそのまま、WEB会議が終わったあとも、リアル参加のメンバー

はまるで修学旅行のようなノリで夜遅くまで話は尽きず、

翌日は朝早くから海岸でエシカルな素材で作った朝食をいただくなど、まさに精神リフレッシュの時間となりました。頭の回転が良くなったはず!とはいえ具体的な結果は未知の世界のまま……次回のEEべんとう会では、それぞれが感じたことを具体的な形にしていけるといいのかなと思っています。



王子マテリア(株) & JICA 地球ひろばを見学してきました 6月17日

6月17日、Cサポの有志メンバーで、王子マテリア(紙のリサイクル工場)とJICA地球ひろばに見学してきました。

王子マテリア(株)江戸川工場では、首都圏から発生する大量の古紙を白板紙に再生しています。生産工程を間近に見ることができ、大変楽しい見学会となりました。一方で、紙に混入させてはいけない「禁忌品」などによる製造トラブルが増えていることを知りました。特にかばんや靴の緩衝材に使われている「昇華転写紙」が混じると数か月後に赤や青のシミができてしまうそうです。会員からは、「実際に再資源化している工場を見学することで、市民が雑紙を分別して出す意味が本当に分かるのだと思った」、「毎日の生活に関わり深い紙のことをもっと理解しなくてはならない」などの感想が寄せられました。

JICA地球広場では、体験ゾーンの展示見学(1時間程度)と地球案内人による体験談(1時間程度)または地球体験学習(グループワーク)(1時間程度)の組み合わせによる2時間コースを体験しました。地球案内人は青年海外協力隊の経験者です。現場で体験したことを踏まえてわかりやすく話をいただきました。会員からは、「エチオピアで2年間のボランティア活動をされた講師のお話は、大変インパクトがあった。」「リアルな現地の様子のお話は、想像でしかなかった現地の生活がよく見えた」、「SDGsの展示物はとても魅力的で、大人も子供も触ったり考えたりしてみたくなる仕掛けが満載」という感想が寄せられました。

※ 紙に混ぜてはいけない「禁忌品」は[こちら](#)から。

JICA地球ひろば団体向け訪問施設の様子は[こちら](#)から。



王子マテリア株式会社(紙のリサイクル工場見学)



JICA地球ひろば(体験ゾーン展示見学)